

唐招提寺第二十八世凝然大徳御忌記念

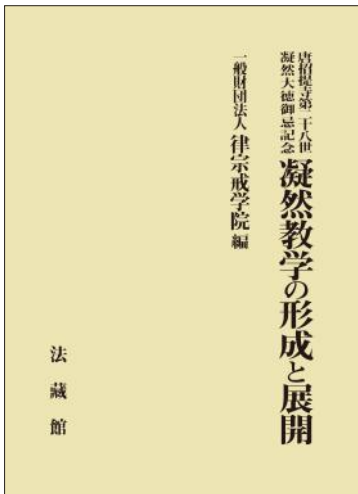
凝然大徳御忌記念 凝然教学の形成と展開

りっしゅうかいがくいん

一般財団法人律宗戒学院編

▼B5判・上製カバー・462頁・本体10,000円＋税

2021年4月刊行



華嚴・律を中心に浄土教・密教や声明など、多岐にわたる著述を残した凝然。その多面的な著作活動を検討し、凝然の思想・教学の全体像を広く東アジア仏教のなかに位置づけるべく、仏教学・歴史学の観点から明らかにする。

【目次】

西山明彦「序」

第一部 凝然の教学とその周辺

藤丸 要「凝然の生涯と学問」

大谷由香「凝然の華嚴学と律宗」

中西俊英「初発心時便成正覚」の思想史的考察
——凝然の解釈の位置づけをめぐる——

佐藤 厚「凝然と均如の『五教章』註釈の比較」

前川健一「明恵と凝然——思想体系比較のための試論」

小野嶋祥雄「鎌倉時代における三論宗の位置
——凝然の三論宗理解を通じて——」

佐竹真城「伝凝然撰『往生註論義』について
——付『往生論註義』翻刻——」

石井公成「凝然の聖徳太子信仰と三経義疏研究」

苦米地誠一「凝然撰『円照上人行状』に見られる真言宗僧円照」

横内裕人「中世東大寺律儀復興史小考
——戒壇院と別所系律院——」

第二部 唐招提寺・東大寺戒壇院における

教学・儀礼の展開

追塩千尋「禅爾の宗教活動について
——戒壇院流「教団」形成の課題——」

高田 悠「戒壇院およびその関連寺院における談義の様相」

鈴木雄太「華嚴の果分」と「密蔵の本身」
——中世日本諸師の「果分不可説」解釈をめぐる——

野呂 靖「東大寺戒壇院における華嚴談義の形成
——盛誉『華嚴手鏡』の成立とその周辺——」

西谷 功「唐招提寺蔵『南山北義見聞私記』をめぐる諸問題
——附・翻刻——」

編集後記

執筆者紹介

注文書	
(書店印)	
ご担当	様冊
法藏館 本体10,000円＋税 一般財団法人律宗戒学院編 唐招提寺第二十八世凝然大徳御忌記念 凝然教学の形成と展開 ISBN: 978-4-8318-6242-6 C3015	
住所	お名前
お電話	

ご注文はFAX: 075-371-0458

法藏館

〒600-8153 京都市下京区正面通烏丸東入
TEL 075-343-0458 FAX 075-371-0458
http://www.hozokan.co.jp info@hozokan.co.jp

仏 教